

## 壁の掃除

- スポンジの広い面を最大限に活かし、掃除します。
- ホースの先を壁面に沿わせ、水を流します。
- ※ ホースの先を壁から離して流すと、飛び散るばかりで外の無駄な使いになってしまいます。
- ※ 水をかけてはいけない仕上げ材もあるため、事前に確認して行いましょう。



## 床の掃除

- ① たわしをつかみ、円を描くように掃除します。  
〈ポイント〉  
たわしを押さえないようにし、空いている手を床に置き、重心をあずけると作業効率が上がります。
- ② 排水口に向かってホースで水を流し、洗剤をよく洗い流します。
- ③ タオルを使って、床の水を拭きとります。
  - タオルを床面に大きく広げて、両端の部分をつかみ、そのまま排水口に向かって一気に引きます。
  - 水気が残らないように、乾いたタオルでしっかり拭き上げましょう。



## 〈タオルの絞り方〉

四つ折りにし、手の甲が下に、両親指が上を向くようにして握り、内側に引っかけて絞り込みます。



## 道具を洗う

- バケツ3杯の水を用意します。  
(水の無駄な使いをしないようにしましょう)
- スポンジやたわしなどは、汚れが多いものは念入りにつ洗い、次に使うときに匂いが残らないようにしましょう。

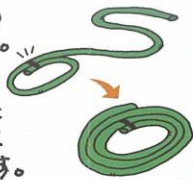


## 〈洗う順番〉

- ① ドライバー、金物
- ② 歯ブラシ、サンドメッシュ、ナイロンたわし
- ③ スポンジ、たわし

## 〈ホースの片付け方〉\*3人で行うとよいでしょう

- ① 1人はホースの水気をタオルで拭いていきます。
  - ② もう1人がホースを巻いていきます。
  - ③ 残りの1人が逆側の口を下向きに持ちます。  
\* 下向きにすることで、ホースの中の水が流れ出ます。
- 1 目目の巻き位置に印を付けておくと、全て同じ大きさに巻くことができます。



## 8 排水口の掃除

- ① 排水口のフタを取り外します。
  - ② 詰まりの原因となるゴミや髪の毛などをスチールブラシやピンセットで取り出します。
  - ③ 錆のある部分はヤスリで落とします。
  - ④ 筒ブラシやシンチューブラシでしっかり排水口の中をホースで水をかけながら掃除します。
- ※ 道具を落とす可能性があるため、排水口の近くに道具を置かないようにご注意ください。
  - ※ 床が濡れる前の、なるべく早い段階で掃除をしましょう。



## 9 壁の掃除

## 10 床の掃除

## 11 水漉し・釣鐘をもどす

- 水漉しと釣鐘を元の位置に戻します。
- ※ 水漉しフックを用い丁寧に扱い、割らないように注意しましょう。

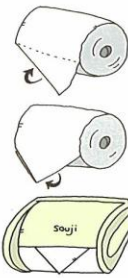
## 12 道具の洗い方

## 13 備品をもどす・確認

掃除場所のトイレの外に運び出しておいた備品を元の位置に戻します。

- ※ トイレトーパーは三角折りにして、ペーパーホルダーに糸内めします。  
(これは作業のけじめです)

- ① 床に水分が、残っていませんか?
- ② 備品は元あった場所に返されていますか?
- ③ 窓(ドア)は閉めましたか?
- ④ 電気は消しましたか?
- ⑤ 班の表示紙は外しましたか?
- ⑥ 石けんで手を洗いましたか?



## 14 感想発表

掃除場所のトイレで班ごとに感想を発表し合ひましょう。

- ※ 食事をする場合は、その席で発表し合ひてもよいでしょう。

## 15 道具の返却

道具をまとめて、班のメンバーで協力して決められた場所に道具を返却します。



# なぜ トイレ掃除か？

## 。。。 トイレ掃除 の五徳

### 1. 謙虚な人になれる

どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにすることはできない。  
人間の第一条件は、まず謙虚であること。謙虚になるための確実に一番の近道が、トイレ掃除です。



### 2. 気付く人になれる

世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄があるか、ないか。無駄をなくすためには、気付く人になることが大切。気付く人になることによって、無駄がなくなる。その「気づき」をもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除です。

### 3. 感動の心を育む

感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたい。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一。

人が人に感動するのは、その人が手と足と体を使い、さらに身を低くして一所懸命取り組んでいる姿に感動する。特に、人のいやがるトイレ掃除は最良の実践です。

### 4. 感謝の心が芽生える

人は幸せだから感謝するのではない。感謝するから幸せになれる。その点、トイレ掃除をしていると小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になれます。

### 5. 心を磨く

心を取り出して磨くわけにはいけないので、目の前に見えるものを磨く。特に、人のいやがるトイレをきれいにすると、心も美しくなる。  
人は、いつも見ているものに心も似てきます。